

国税局部長



東京国税局調査部のプライドは
国税庁のプライド

東京国税局調査第一部長 山縣 哲也

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| H2.4 国税庁 長官官房 総務課 | H18.6 在ニューヨーク日本国総領事館 領事 |
| H3.7 名古屋国税局 調査部 国税調査官 | H21.7 東京国税局 調査第一部 国際監理官 |
| H5.7 米国留学 | H22.7 札幌国税局 課税第二部長 |
| H7.7 国税庁 長官官房 人事課 企画係長 | H23.7 福岡国税局 課税第二部長 |
| H9.7 長門税務署長 | H24.7 熊本国税局 課税部長 |
| H10.7 大蔵省 国際局 開発金融課 課長補佐 | H25.7 国税庁 調査査察部 調査課 国際調査管理官 |
| H11.7 大蔵省 国際局 国際機構課 課長補佐 | H26.7 札幌国税局 課税第一部長 |
| H13.7 国税庁 長官官房 国際業務課 課長補佐 | H27.7 大阪国税局 調査第一部長 |
| H15.7 札幌国税局 総務部 総務課長 | H28.7 大阪国税局 課税第一部長 |
| H17.7 国税庁 長官官房 総務課 課長補佐 | H29.7 現職 |

現場の指揮官としての重責

東京国税局調査部。1,200名の精鋭が所属する。我が国をリードするトップの大法人の調査を担当するこの部署は国税の組織の中でも特別だ。その調査においては、想像を絶する調査力が求められる。国際課税、組織再編税制などの税務知識はもちろんだが、金融知識、ICT知識、業界慣習、一般常識などすべての知識に高いレベルが必要だ。大企業と渡り合う品格、話術の巧みさも欠かせない。その大企業を少数精鋭で調査する。調査は困難を極める。ただ、士気が高く、みんな頑張っている。

なぜ頑張るのか。それはプライドである。東京局調査部がトップ企業をしっかりと調査できてこそ初めて我が国の徴税が全体として完成するという思い。そのために力を磨くための努力は惜しまない。東京国税局調査部のプライドは国税庁のプライドである。

このような職場を部長として率いる。専門知識、指導力、人間力、ギャグのセンスなどが求められるが、一番大切なのは「これを許したら課税の公平が損なわれる」との熱い思いと正義感である。それはなぜか現場に伝わる。

国税庁総合職の魅力

政策官庁で政策を立案する面白さも経験したが、現場を持っている国税庁での立案は、現実目に見えて現場が動いていくだけに、重圧はあるものの、そのやりがいは格別だ。また、多くの現場の方々と仕事だけでなくプライベートでも深く関わりあう。人生にとってのかけがえのない財産だと感じる。

正義感に溢れる諸君、是非、国税庁の門をたたいてほしい。一緒に、現場の力を120%発揮できるように汗を流そう。

